

静岡県教育委員会

議事録

令和3年度 第7回定例
8月18日（水）

静岡県教育委員会教育長 木苗直秀は、

令和3年8月18日に教育委員会第7回定例会を招集した。

1 開催日時 令和3年8月18日（水） 開会 13時30分
閉会 14時00分

2 会場 教育委員会議室

3 出席者 教 育 長 木 苗 直 秀
委 員 渡 邊 靖 乃
委 員 伊 東 幸 宏
委 員 小 野 澤 宏 時
委 員 後 藤 康 雄

事務局（説明員） 長 澤 由 哉 教育部長
塩 崎 克 幸 教育監
水 口 秀 樹 理事（総括担当）
松 井 和 子 理事
松 下 明 生 参事兼教育施設課長
宮 崎 文 秀 参事兼義務教育課長
堀 口 敬 記 教育総務課長
中 山 雄 二 教育政策課長
青 木 康 行 財務課長
本 村 勉 教育厚生課長
本 多 伸 治 高校教育課長
伊 賀 匡 特別支援教育課長
近 藤 浩 通 健康体育課長
山 下 英 作 社会教育課長
中 川 恵 静岡教育事務所長
松 山 淳 静岡西教育事務所長
松 下 和 弘 総合教育センター所長
赤 石 達 彦 中央図書館長
西 島 真 美 人権・教員育成室長

4 その他

(1) 第11号議案は可決された。

(2) 報告事項は了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。

今回の議事録の署名は、私のほか、後藤委員にお願いする。

第11号議案 令和4年度使用教科用図書の採択

教 育 長： 第11号議案「令和4年度使用教科用図書の採択」について本多高校
教育課長、伊賀特別支援教育課長より説明願う。

高校教育課長： <議案について説明>

特別支援教育課長： <議案について説明>

教 育 長： 質疑等はあるか。

全 委 員： (特になし)

教 育 長： 本案について、原案のとおり可決することに異議はないか。

全 委 員： (異議なし)

教 育 長： 第 11 号議案について、原案のとおり可決する。

報告事項 1 令和 3 年度第 1 回静岡県教員育成協議会（7 月 26 日）の開催概要

教 育 長： 報告事項 1 「令和 3 年度第 1 回静岡県教員育成協議会（7 月 26 日）の開催概要」について、西島人権・教員育成室長より説明願う。

人権・教員育成室長： <報告事項について説明>

教 育 長： 質疑等はあるか。

渡 邊 委 員： 感想も含めていくつか質問したい。

1 点目は、全国調査等で教員の自己肯定感の低さのデータを見ることがあるが、その部分についてはどのような対応を考えているか。

2 点目は、コロナウイルス感染症が落ち着いた後であっても、移動時間等も考え、ICTを活用しながらのオンラインの研修をどんどん進めていっていったほうがよいと思うが、どのように考えているか。

3 点目は、SDGs の推進等により、「男らしさ」・「女らしさ」やLGBTQ に関しての言動等については、今後は今まで以上に配慮する必要があると思うが、そのような研修はどこに含まれるか。

4 点目は、参考資料④の「【案】静岡県教員育成指標」の中の「深化・熟練期／組織運営力」の箇所、「自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。」という記述があるが、私は少し危険ではないかと考える。これまで様々な不祥事に対応する中で、不祥事を起こした教職員から「相談できる空気ではなかった」、「自分の相談を受けとめてもらえなかった」という発言があったことを聞いている。管理職の教職員が自身の経験を率先して伝えることが、今の若い世代の教職員のニーズと合わない可能性もある。その上に記述がある「適時・的確に分析し」という部分を丁寧に実施し、自身の「経験・スキル」を越えた知見を持って、今の若い世代の教員に「どういうアドバイスをすれば良いか」、「どういう向き合い方をすれば良いか」を考える等、新しい考え方が必要だと思う。

人権・教員育成室長： 1 点目の「教職員自身の自己肯定感をどのように育んでいくか」は、育成指標の中に直接的な言葉は入っていないが、管理職が面談等をする際、自己肯定感を高めることに配慮するよう、補助資料等にその視点を加えることを検討したい。また、校長指標に、指摘いただいた視点を入れることを検討していきたい。

2 点目は、本課内の ICT 推進班とより効果的なオンライン研修について模索しながら、連携して取り組んでいる。さらに、総合教育センターとも連携して、検討していきたいと考えている。

3点目は、育成指標にも「個に応じた指導」の記載があり、人権教育を通してその子らしさを大事にする意識を高めていきたい。人権教育の研修会、また、管理職や生徒指導の研修等を通して実施している。

4点目についても今後検討したいと考える。

教 育 長： 他に意見は無いか。

全 委 員： （特になし）

教 育 長： 報告事項1を了承する。

配付報告1 令和4年度教員採用1次試験選考結果

渡 邊 委 員： 配布報告について質問がある。昨今、教員を志望する人の減少傾向や採用試験の倍率低下が話題となっているが、静岡県の傾向はどうか。

参事兼義務教育課長： 小学校の志願者数は10年間横ばいであったが、今年度については減ってしまっている。中学校については、ほぼ横ばいから微増で、今まで減少傾向にあったが下げ止まっている。倍率については、今までは大量退職の時期が続いた関係で、採用者数も多かったが、今後は採用予定者数が極端に減る予定であるため、倍率自体は3倍弱程度で推移する見込みである。教科別では、「体育」については、10倍程度見込んでいる。

高校教育課長： 高校については、昨年と比べて1次試験の志願者が全体で818人であり、昨年と比べて150人程度少ない状況であり、ここ数年は減少傾向である。ただ、倍率については、130人に対して818人ということで、他の校種と比べると高い数字となっている。科目によっては低い倍率となっているところもあるあるが、例年も同様の傾向が見られる。

特別支援教育課長： 特別支援学校については、今年度、昨年度と、志願者数は減少している。特に新卒者の志願者の数が減っている。その中で考えられる要因の一つとして、教員免許の取得に必要な介護等体験を、コロナウイルス感染症の関係で、学生が実施できていないことが考えられる。また、介護等体験をきっかけとして、特別支援学校を志願する学生もいるため、そのあたりも影響があったと推測している。

渡 邊 委 員： 「教員になりたい人はどのような傾向にあるか」については、把握しておきたい情報であるので、配布報告だけではなく、口頭による報告をお願いしたい。

教 育 長： 以上で、本定例会の議事はすべて終了した。

これをもって、令和3年度第7回教育委員会定例会を閉会とする。